

ベトナム・チョーライ病院との第四回テレカンファレンスを実施(2014.10.29)

平成 26 年 10 月 29 日、筑波大学附属病院とベトナム・チョーライ病院との間でテレカンファレンスが実施されました。今回のトピックは消化器外科における腹腔鏡下手術で、実質臓器では脾臓摘出術、管腔臓器では直腸切除術に関するものでした。

当日は両病院あわせ 30 名以上と九州大学よりアジア遠隔医療センター長の清水周次先生を含む 2 名が参加し、チョーライ病院、筑波大学附属病院双方からのビデオクリップを含む発表とそれに引き続く討論および質疑応答で構成されました。

Vidyo システムを使用して行われ、画質は鮮明で大変わかりやすく、双方の医師からは具体的で多くの質問がだされ、実り多きカンファレンスであったとの声が聞かれました。

このカンファレンスは今後も定期的実施する計画であり、医療の国際化の理念のもと、両国の多くの医師がそれぞれの知識やスキルを磨く最適な機会となることが期待されています。



ビデオカンファレンス開始直前の最終打ち合わせ



チョーライ病院で発表に聞き入る参加者



カンファレンスのモニター画面



筑波大学附属病院にからのカンファレンスの様子